

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【国際公開番号】WO2021/132603  
 【出願番号】特願2021-567694(P2021-567694)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 4 0 / 0 0 ( 2 0 1 2 . 0 1 )

G 0 6 Q 1 0 / 0 6 ( 2 0 1 2 . 0 1 )

G 0 6 F 3 / 0 4 8 ( 2 0 2 2 . 0 1 )

10

【F I】

G 0 6 Q 4 0 / 0 0 4 2 0

G 0 6 Q 1 0 / 0 6 3 2 8

G 0 6 F 3 / 0 4 8

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月24日(2021.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の個別項目の夫々の結論を所定の因果関係に基づいて結びつけることで最終結論を得る対象について、前記複数の個別項目の夫々の結論を算出し、前記複数の個別項目の夫々の結論を前記所定の因果関係に基づいて結びつける演算を実行することで、前記最終結論を算出する演算手段と、

前記複数の個別項目の夫々の結論及び前記最終結論の夫々を個別表示対象として、前記所定の因果関係に基づく順番で複数の前記個別表示対象の夫々を提示する提示手段と、  
 を備える情報処理装置。

30

【請求項2】

所定の時間単位毎に結論が変動する複数の個別項目の夫々について、前記所定の時間単位毎に前記結論を夫々算出する演算手段と、

前記複数の個別項目の夫々について、他の個別項目に対して同時に又は所定の順番で、前記所定の時間単位毎の前記結論の夫々を個別表示対象の夫々として時系列の順で提示する提示手段と、

を備える情報処理装置。

【請求項3】

業務における前記所定時間単位毎の予算と実績との差異又は2期分の実績どうしの差異を計算した結果として前記個別項目を得る予算実績計算手段をさらに備え、

前記提示手段は、前記予算実績計算手段により得られた前記個別項目を、期間の順にグラフ又は表の形態でアニメーション表示する、

請求項2に記載の情報処理装置。

40

【請求項4】

所定期間で達成すべき事業目標額に基づいて、前記所定の時間単位毎に区画し、既に経過した経過期間と未経過期間に分けた事業計画の詳細データを生成する事業計画生成手段をさらに備え、

前記提示手段は、前記事業計画生成手段により生成された事業計画の詳細データの夫々を前記複数の個別項目のうち何れかに代入して、所定の順でアニメーション表示する、

50

請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

企業が活動する中で、前記所定の時間単位で変動する要因を含む数値群を当該所定の時間単位毎に集計する集計手段をさらに備え、  
前記提示手段は、前記集計手段により前記単位期間毎に集計された前記数値群の夫々を前記複数の個別項目のうち何れかに代入して、所定の順でアニメーション表示する、  
請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

時間の流れに応じて結論が変動する複数の個別項目の夫々について、過去の第 1 期間における実績を用いた第 1 の演算手法に従って、前記第 1 期間において算出される前記結論を第 1 結論として算出すると共に、前記第 1 の演算手法とは異なる第 2 の演算手法に従って、前記第 2 期間において予測される前記結論を第 2 結論として演算する演算手段と、  
前記第 1 結論と前記第 2 結論のうち指定された方について、前記複数の個別項目の夫々を個別表示対象の夫々として所定の順番で提示する提示手段と、  
を備える情報処理装置。

10

【請求項 7】

前記複数の個別項目の夫々は複数の勘定項目の夫々であり、  
前記演算手段は、  
過去の前記第 1 期間における実績を未来も踏襲するという第 1 条件を用いる前記第 1 の演算手法に従って、前記第 2 期間における前記複数の勘定項目毎の夫々の結論を前記第 1 結論として演算すると共に、  
指定された今期の目標キャッシュ獲得額を達成するという第 2 条件を用いる前記第 2 の演算手法に従って、前記第 2 期間における前記複数の勘定項目毎の夫々の結論を前記第 2 結論として演算する、  
請求項 6 に記載の情報処理装置。

20

【請求項 8】

前記提示手段は、さらに、  
提示されている前記個別表示対象に対する指示の操作がなされた場合、又は数値の判定に基づいて、当該個別表示対象が示す前記所定の結論に関する補足情報を提示する、  
請求項 1 乃至 7 のうち何れか 1 項に記載の情報処理装置。

30

【請求項 9】

前記提示手段は、  
複数の前記個別表示対象の夫々を順次アニメーション表示する表示制御手段、  
を備える請求項 1、2、6 乃至 8 のうち何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記アニメーション表示の表示形態を指定する操作を受付ける操作受付手段と、  
前記提示手段は、前記操作により指定された前記表示形態で、前記複数の個別表示対象の夫々を順次アニメーション表示する、  
請求項 9 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記複数の個別項目のうち 1 以上の項目に入力すべき情報を、他の情報処理装置から取得して一元管理する管理手段、  
をさらに備える請求項 1 乃至 10 のうち何れか 1 項に記載の情報処理装置。

40

【請求項 12】

前記提示手段は、さらに、  
前記複数の個別項目のうち少なくとも一部を行列状に提示し、  
所定の個別項目が指定されると、当該所定の個別項目を含む行又は列を他とは異なる提示形態で表示させる、  
請求項 1 乃至 11 のうち何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

50

業務に応じたキー指標を提示する第2提示手段、  
をさらに備える請求項1乃至12のうち何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項14】

情報処理装置が実行する情報処理方法において、  
複数の個別項目の夫々の結論を所定の因果関係に基づいて結びつけることで最終結論を得る対象について、前記複数の個別項目の夫々の結論を算出し、前記複数の個別項目の夫々の結論を前記所定の因果関係に基づいて結びつける演算を実行することで、前記最終結論を算出する演算ステップと、

前記複数の個別項目の夫々の結論及び前記最終結論の夫々を個別表示対象として、前記所定の因果関係に基づく順番で複数の前記個別表示対象の夫々を提示する提示ステップと

10

—  
を含む情報処理方法。

【請求項15】

情報処理装置を制御するプログラムにおいて、

複数の個別項目の夫々の結論を所定の因果関係に基づいて結びつけることで最終結論を得る対象について、前記複数の個別項目の夫々の結論を算出し、前記複数の個別項目の夫々の結論を前記所定の因果関係に基づいて結びつける演算を実行することで、前記最終結論を算出する演算ステップと、

前記複数の個別項目の夫々の結論及び前記最終結論の夫々を個別表示対象として、前記所定の因果関係に基づく順番で複数の前記個別表示対象の夫々を提示する提示ステップと

20

—  
を含む制御処理を実行させるプログラム。

30

40

50